

# 株式会社加藤カム技研

愛知県蒲郡市

生産性向上

需要獲得

担い手確保

ものづくり

サービス

ポイント

## カム創りのエキスパートとして、常に探究心を持ちながら製品の正確さを追求

- 低燃費・低公害車用エンジンで用いられる凹Rカムシャフトの卓越した研削加工技術で自動車開発に貢献
- 長年蓄積した加工ノウハウで、各種産業機械のカム部品の解析から製作までを一貫して受注する体制を構築
- 社員の意識改革を積極的に推進。自主的に動く社員の育成や技能検定取得に熱心に取り組む

### 企業基本情報

所在地	愛知県蒲郡市金平町宮前7番地2
電話/FAX	0533-57-6221/0533-57-1882 (本社工場)
URL	<a href="http://www.katocam.com/">http://www.katocam.com/</a>
代表者	会長 加藤 壽則 代表取締役 加藤 誠紀
設立(創)	1974年 1966年
資本金	1,000万円
従業員数	32人 (内パート4人)



### 会社概要

同社は、産業機械のカム部品設計・製造・解析、四輪、二輪、船外機、発電機他、内燃機関エンジンのカムシャフトの製造を得意とする企業である。特に、試作から小ロット加工を得意にしており、研究開発用試作品等の短納期のユーザーニーズにも対応している。「他がやれないことをやる」「依頼されたものは絶対に断らない」をモットーに高度な研削加工技術等を活かした難加工、難削材加工に挑戦している。



会社外観

### 革新的な製品開発や創造的なサービスの提供に関する取組の内容

#### エンジン燃焼効率向上の業界ニーズを実現するカム加工技術の確立

自動車開発では排ガス規制が強化され、より環境負荷の少ないエンジン開発が求められている。低燃費・低公害車用エンジン開発において、カムプロフィールを凹R付き形状とし、バルブの開き始めと閉じ終わり付近のバルブリフト量を増加させて出力や燃費効率を向上させることが期待されている。このように、高精度の凹カム加工は市場要請が強く、その中で同社は他社が真似できない小さなR（カーブの強さ）の加工技術の蓄積をベースに、国内自動車メーカー開発部門にVE提案を行い、高い評価を得ている。



凹Rカム

#### 凹R形状の最小化及び加工時間の大幅な短縮による劇的なコスト低減

現状、凹カム研削の大きな課題は、ワークと砥石との接触面での熱損傷があげられ、これは凹R形状が小径になればなるほど、破損する確率が高くなるのがネックである。こうした問題を解決するため、同社は研削装置の小径砥石の導入だけでなく、加工条件（ワーク回転数、研削の切り込み量等）をデータ化し、割れ、硬度低下を抑える加工方法を確立している。その結果、凹R小径カムの短時間加工が実現でき、車メーカーの短納期試作品加工ニーズに応えている。



凹カム研削

#### 現場重視、社員重視をモットーに。人材育成にも注力

同社社長は大手工作機械メーカーを経て、父親が創業した同社に入社。社員の意識改革に積極的に取り組み、自主的に動く社員の育成に努力を続けている。さらに、愛知県幸田町が主催するものづくり改善インストラクター育成スクールに現場社員を送るなど、また、成長の証として従業員の技能検定取得にも熱心で、従業員・人を会社の財産として考え、教育に重点を置いて取り組んでいる。



人材育成（技能検定取得に向けて）